

NPO 京都コミュニティ放送  
第 112 回 番組審議会 議事録

開催日時：2017年5月30日（火）10：30～12：00

会場：京都市中京区寺町三条上がる 天性寺

委員総数：6人 出席：3人 欠席：3人

出席委員：中村正 竹下清 福井秀彦

欠席委員：山本時子 岡本卓也 ジェフ・バーグランド

局側委員：町田寿二 松岡千鶴 松下諒多 （順不同敬称略）

ゲスト 「FM797 ライブ！ 新井英一の世界」

（毎週月曜日 午後3時～3時15分 15分番組）

番組オーナー 塩見和子さん

■審議番組

「FM797 ライブ！新井英一の世界」

（毎週月曜日 午後3時～3時15分 放送）

6月10日の京都文化博物館ライブに合わせて、3ヶ月限定で番組が蘇りました。心にしみるブルースをお届けします。

■番組審議

冒頭、番組オーナー塩見さんから番組趣旨の説明があった。

7年間新井英一という1人の歌手について番組を続けてきて、昨年1年間休止した。仕事の都合もあったが、マンネリ化しているのではと思い、考える時間が必要だと思った。今回ライブに合わせて4、5、6月限定で番組を再開した。

5月29日の番組を聞いて審議に入った。

- ・ミュージシャンにとってフルで自分の曲をかけてもらうのは幸せ。普通はトーク中心で曲はフェイドアウトされる。番組は新井さんのファンのためなのかファンを増やすのが目的なのか？新井さんの近況の声を入れると、番組を身近に感じるのではないか。
- ・ずっと、曲とトークの組み合わせ？
- ・1人が気楽で良い。（塩見）
- ・冒頭のあいさつと曲紹介のトークの間にちょっとした間が欲しい。メリハリが出来る。
- ・塩見さんの意志が感じられ、それが番組のカラーになっている。マンネリでも良い。
- ・好きな人を好きと言っている番組なので恥ずかしい。控え目で丁度だと思う。（塩見）
- ・ミキサーを担当していて当初は曲と曲の間の取り方が分からなかったが、最近、塩見さんの要望を理解できるようになった。
- ・間（ま）はとても大切なもの。
- ・年代によって感じる間（ま）は違うような気がする。（塩見）
- ・番組自体が塩見さんにとって生活の間（ま）ではないか。ラジオカフェならではの番組
- ・番組休止中は明日は録音だからと早く寝る事もなかった。生活の1部になっていた。これからは3カ月休んで又3ヶ月放送というリズムで続けていこうと思う（塩見）

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は2017年6月1日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は2017年6月1日からホームページで公開した。